



聖公会大学校

Sungkonghoe University



ホームページ <http://skhu.ac.kr/main.aspx>

交流協定締結年月日：2016年5月25日 主管学部：経済学部



国際交流の特色

聖公会大学は、1914年に聖ミカエル神学院として設立され、1994年に聖公会大学と改称された。1995年には世界聖公会大学協議会の会員校として加入し活動している。大学としての規模は大きくないものの、韓国社会で最も影響力のある大学のひとつとして定評があり、「NGO大学」とも呼ばれるほど、学外の多くの市民団体と密接なネットワークを形成しているユニークな大学である。

交流実績（平成29年度）

年度	H29
受入・派遣	
学生の受入	5
学生の派遣	14
研究者・職員の受入	1
研究者・職員の派遣	3

教員からの声

2016年に国際学術交流協定を締結し、聖公会大学と本学経済学部の間では、教員レベルの学術研究交流や学生レベルの教育交流が進められています。

早速、2017年度より、経済学部では、初修外国語で韓国語を学んだ学生を対象に、夏季集中科目「海外研修（韓国）」科目を設置しました。2017年度は6名、2018年度は3名の香川大学の学生がこの科目を履修して、聖公会大学で8月初旬から中旬の2週間にわたり、韓国語レッスン、韓国文化体験、日韓学生コミュニケーション等のプログラムに参加しました。香川大学の学生たちは、聖公会大学キャンパス内の学生寮に宿泊し、プチ留学を体験することができました。

また、2018年8月には、経済学部生1名（3年生）が聖公会大学へ1年間の交換留学に出発し、短期研修だけではなく長期留学を通じた学生交流も行われています。

2017年6月には、大学間のグローバル教育プログラム作りを目的として、聖公会大学校の張教授が経済学部を訪問されました。今後、ますます学生交流、教育・研究交流が盛んになっていくと思います。

経済学部教授 宮島美花

学生からの声

2017年度経済学部「海外研修（韓国）」履修者の声

●私は1年生の時から韓国語を履修しており、韓国で語学研修をずっとしたいと思っていて、今回ようやく行くことができました。初めての海外研修でとても緊張しましたが、聖公会大学の方々はとても親切で、授業もわかりやすく参加できました。韓国語授業は2人の先生によって行われますが、どちらの先生も生徒1人1人をよく見てくれました。少人数クラスということもあり、個別に発言する機会が多く、韓国語をたくさん使うことができたのがよかったです。最初は韓国語で話されること全て理解するのは難しかったですがだんだん耳も慣れ、わかるようになっていきました。フリータイムでは色々なところに旅行でき楽しかったです。2週間という短い期間でしたが私にとって良い経験になりました。

（経済学部3年 中村紗理奈）

●聖公会大学是最寄駅の温水駅から徒歩10分程度の場所にあり、市内に出る際もアクセスが簡単に出来る場所でした。大学に到着した日、現地の先生やスタッフに暖かく迎えられました。また寮や学校の設備もとても綺麗で、とても過ごしやすい環境だと感じました。各授業の先生は2人とも、とても気さくで優しい先生でした。韓国語が聞き取り難い時はゆっくり話して下さったり、学生が自分の口で話す機会をたくさん作って下さり、とても分かりやすく、やり甲斐を感じる事の出来る授業でした。ここで韓国語を学ぶことが出来てとても良かったです。

（経済学部3年 犬塚恵）

●文法や語彙は日本でも学習できるが、会話は機会がないので、会話力を身に付けることができた。また、語学学習のみでなく、文化体験、現地情勢を学ぶことができた。

（法学部2年 福田佳小里）

●将来海外と関係ある仕事に就職したいと考えている。2週間という短い間であったが、聞き取りの能力は日本で学習するよりも効果的であった。

（法学部2年 和氣風沙）